

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
定価 1部 108円(税込み)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

## 【号外】衆議院議員 大野敬太郎 特集号

### 東アジアの平和と繁栄

#### 国際局長の大野敬太郎氏(香川三区)

国際政治は新たなステージに入った。保護貿易主義的アメリカファースト政策を掲げたトランプ氏を新大統領に迎えたアメリカや、経済産業構造改革を成し遂げられないロシアは、これからのように国際社会に参与していくのか。また、国際社会の意思を無視し続ける北朝鮮、既存の国際秩序に抗うかのように独自の戦略を推し進める中国、韓国の政情不安定、シリアを中心とした中東情勢の不透明さ、イギリスのEU離脱による欧州の行方など、今後の世界平和と繁栄に向けた課題は多い。今回は、党内で積極的に外交政策に携わっている国際局長の大野敬太郎氏に話を聞いた。



自民党総合研究所のオーストラリア訪問団長としてクッタバル基地を訪問

■まず具体的話からTPPの見通しは？

◇大野次長：まず言えることは、我々日本はアメリカが言い出しているTPP再交渉には絶対に応じないということです。自由貿易は世界の繁栄にとって間違いなくプラスです。アメリカははじめ一部の世界で現れ始めている保護貿易主義的傾向にしっかりと対峙して、それは間違いだということとを日本から発信していかなければなりません。

■保護貿易主義の傾向とは？

◇大野：アメリカはマクロで見れば世界経済のけん引役と言えますが、金持ち一強であって中間層が減少し低所得者層が増加している。すると海外に雇用を奪われる、資本が海外に流出する、などの声となる。それを受けてトランプ氏は関税的にも物理的にも海外と壁を作ろうと言って当選した。これが保護貿易主義です。積極財政と大型減税で一時は成長が加速しますが中長期的には世界経済の減速の煽りを受けるはずですよ。

■アメリカは世界の警察官を辞めた？

◇大野：オバマ前大統領は世界の警察官は辞めたと言って物議を醸しました。力を背景にした世界秩序の構築に疑問を投げかけたわけですが、それにより中東やアジアに混乱が生じました。トランプ大統領は、同じことを言っているのですが、財政的理由からであって、前者の理念的背景とは全く違います。もちろんブッシュ元大統領のようなネオコン・ゴリ押しの力の行使の時代に戻るべきではありませんが、現実的問題としてパワーバランスは崩すべきではありません。昔、アメリカがフィリピンから撤退した直後に中国が南沙諸島を占領しました。アメリカには国際社会に引き続き積極的に関与して頂かなければなりません。

■中国の意図は何だと思えますか？

◇大野：経済権益の確保です。そのためには国内政治を安定化させなければなりません。だとしたら国内格差を解消せざるを得ず西部内陸部の開発が必要になり、一方でエネルギー確保もしていかなければならない。だから、中国は米国と対峙し中東までを睨んだ一帯一路という西進戦略になる。すると南シナ海が重要になり、空母戦艦群や多くの小型フリゲートが必要になり、また南シナ海から地中海までの沿岸インフラ開発が必要と

なり、A-1Bが必然的に要ることになる。すると国内内陸部の雇用を世界中のインフラ需要に当てれば国内格差も解消するという作戦です。

■何をすべきですか？

◇大野：まずは経済力の復活。そして一定の防衛力。そしてひたすら外交です。世界秩序の挑戦者と同じ価値を共有できるプラットフォームを作る努力をしなければなりません。価値観を共有できなければ合意点は見出せません。そのためには結局は人間関係です。政治がどれだけ人脈を持てるかで国家は大きく変わります。表立っては総理であり閣僚であり外交官。裏では目立たなくてもいいので一人ひとりの政治家がイザと言う時に役立てる努力を重ねることが重要だと思います。



アフアナシエフ・ロシア大使と



孔鉉佑・中国外務次官補との意見交換 韓国議会副議長と



ヨルダン貿易大臣との意見交換



茂木敏充政調会長への報告



謝長廷・台湾駐日代表と



日米若手政治家交流



エジプト大使と

